

ISSN 0914—6768

第 26 号

図書館だより

平成元年 3 月 25 日

愛媛大学附属図書館

目 次

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ○『除 行』……………1~2 | ○ 平成元年度新規及び
中止購入雑誌リスト…………… 10~13 |
| ○ 旧制松山高校の蔵書について思うこと 2~3 | ○ 愛媛大学附属図書館委員会…………… 13~14 |
| ○ JAPAN IS ON THE MOVE …… 3~4 | ○ 愛媛大学附属図書館委員会委員…………… 14 |
| ○「創造の2つの世界」…………… 4~5 | ○ 昭和63年度(第14回)中国四国
地区国立大学図書館係長会議… 14 |
| ○ 講演会について…………… 5 | ○ 愛媛地区大学図書館協議会総会…………… 14 |
| ○ 昭和63年度購入「大型コレクション」…5~6 | ○ 図書館業務電算化日録…………… 15 |
| ○ 貴重図書の指定について…………… 6~7 | ○ お知らせ…………… 15~16 |
| ○ 愛媛大学附属図書館の
地域資料について……………7~10 | |

『 除 行 』

松山市を中心に、県内の各方面へのびる道路は年度末になると、道路工事の花盛りとなる。工事現場に近づくと、『工事中走行注意』のほか、表題の『除行』の標識が氾濫する。工事担当者は『徐行』のつもりらしいが、原案作成者か、看板製作者のいずれかがミスをしているものと思われる。

同じ『除行』の標識はフェリーボートのデッキにも麗々しく掲げられている。文字通り解釈すると、『押し退けて行け』ということになるが、勿論、当事者はそのつもりではない。無学のなせる技である。この字を見て育った子供たちは一生を通して『除行』と書き続けるのではなからうか。

昭和40年代に各地の大学で『紛争』が流行し、大学の門前に立て看板が林立した時代があった。その看板にしばしば『紛争』が登場した。当時の教官たちはそのそばを通りながら、『コナアライ』か、とニヤニヤしたものである。字の間違いを直してやろうという気さえ起らなかった。

医学部分館長 三 木 吉 治

このレベルの字は私共の年代には、中学の一、二年ですでに間違えることはなかったと思っている。では、どうしてこんなに国語のレベルが低下したのであろうか。先日、共通一次試験の立ち合いで、国語の問題を覗いてみた。問題のほうはとにかく、受験生が書くのは自分の名前と受験場名だけで、ほかは『黒丸ヌリツブシ』ばかり。これでは書く能力がなくても国語は困らない。

大学内の本屋さんの立ち読みコーナーで、黒だかりしているのはマンガや劇画コーナーだけ。連載物でこの号も見ておかないと、明日からの人生に空白を生じそうな熱気である。大学生ともなれば、この素晴らしい日本文化に、もっとどっぷりと浸れるような書物を読んでみたらどうかと思う。24時間ぶっつけのテレビ放送、おなじみテレビ・ゲーム、コピー機やファクシミリの普及なども、国語の能力を低下させるのに役立っているらしい。

書き方だけでなく、読み方のほうでも実に傑作

な作品が多い。医学用語から拾ってみると、発赤（ホッセキ）→ハッカ、発作（ホッサ）→ハッサク、罹患（リカン）→ラカン、増悪（ゾウアク）→ゾウオ、壊死（エシ）→カイン、嚥下（エンゲ）→リュウカなどなどである。医学部に入学した諸君はこれらの日本語を日常用語として使いこなせるまでは卒業できないことになっている。ふりがな（ルビ）を打った教科書はまだ殆どない。

本学図書館には現在、本館に64万冊、農学部分館に8万冊、医学部分館に6万冊の蔵書があり、本学全体で年間6,700種の雑誌がとられている。蔵書のほうは目録カード（昨年からはコンピュータ）で利用ができ、雑誌のほうも電話回線を用いたコンピュータ検索が可能である。本学にない図書については大学図書館間の相互貸し借りができ、医学部内だけでも年間約5,000件の相互利用（文献複写をふくむ）が行われている。つまり、読みたい人には、とことんサービスが受けられるようになっている。どこまで利用するかは諸君たち次第である。

各教室や講座の主任には教室内で作製され、雑誌や著書に投稿される論文に全部、目を通して、修正、加筆などのアドバイス（校閲）をするのが仕事になっている。でないと、その論文が印刷、公表されたのち、お粗末な過ちが見つかったら、教室主任が責任を問われることとなる。以前には教室員の書いた手書きの論文を自宅にまでもち帰っ

て、夜なべで目を通して、加筆、修正し、翌朝著者に返すと、欧文でも和文でも、再び修正原稿が返ってくるのに最低2、3日はかかった。

しかし、最近ではワープロのせいで、翌朝返すと、その夕方にはもう修正された原稿が再校閲を待っている。そこで、哀れな教室主任の夜は、連夜、校閲に捧げられることとなった。その結果、若い研究者の書く能力はどんどん低下し、一方で、論文作製スピードは格段に向上している。医学部内で1987年の一年間に合計852篇の論文が印刷、公表されたが、このうち、欧文論文は237篇で、1986年に比べると40%もの増加である。

このようなスピードで公表される論文に全部目を通すのは不可能に近い。せいぜい自分の研究分野の論文の表題に目を通すのが精一杯ということになる。しかし、これも若い時代から繰り返し、学んだ知識の集積がなければ、意味のないことで、一旦、この積み重ねや習慣がストップすると、あとは再び、以前の習慣に戻ることは困難となる。

そこで、今から大学生として出発する若い諸君に勧めたいのは、まず、適当な、標準的な教科書に充分目を通し、重要事項を手書きでメモしながら、そこに書かれた内容を自分のものにする。そののち、新着雑誌から自分にとって新しい内容を発見、メモしていくことを習慣として頂きたいことである。読むだけでなく、書き取る習慣をつけるのがポイントである。

旧制松山高校の蔵書について思うこと

事務部長 前 田 正 三

本学の中央図書館、書庫（西側）6層には、戦災をくぐりぬけてきた松高の蔵書が保存されている。松高の図書原簿を見ると1部戦災によって失われたものもあるようであるが、現存する資料は愛媛大学にとって重要な資料である。

大学制度が、旧制から新制へと移行した昭和24年（1949）、今から40年前、当時の大学図書館は整備統合にとまなり、移管された図書の目録・分類作業に日夜を惜しんで多くのエネルギーが投入されたと聞いている。筆者が昭和30年に図書館の仕事をはじめ約30年になるが、図書館での初めての仕事が、戦災で焼け残った図書・雑誌の整理

作業であった。各研究室を廻り目録を作成したことを今でも憶えている。

こうした古い図書のコレクションは、旧制から図書館を引継いだ建物があるところはともかくとして、整備統合された図書館の書庫は、書庫内図書の移動、新しい年代の図書との区分、といった過程をとおして、古い本は奥へ奥へと並べられていくものである。

当館でも40年の歴史の中で、1層は外国雑誌、2層は国内雑誌、3層が昭和39（1964）年からの新しい図書、4層から6層までが昭和38（1963）年までの本と、利用の度合によって入口から遠い

ところに古い本が並べられている。書庫の階段をあがって行くにしたがって、古い図書の臭いがその年代を示すようにつよくなって来る。

幸いにして当館では、換気装置がよく機能していてカビ臭さはあまり感じない。然し、置かれている状態から考えると、歴史的な古典的な重みは厳然とした事実であり、なんらかの対応が迫られている。

書庫のスペース不足と、保存図書への対応は国立大学図書館協議会でも課題となっており具体的な調査と研究が求められている。

石山氏^{注)}によれば、国立国会図書館の関西館構想では、“外国の逐次刊行物は関西館で……”と機能分担を述べているように、国内の図書は国会図書館での保存を期待するとしても、国内に所蔵する古典的な外国図書は、大学図書館における役割分担としてデータの入力等、その方策を考える必要があるように思える。

当館でも、図書館業務電算化が進展しているが図書の目録データは1988年4月からの受入分から、すでに約2万件が入力されている。更に日々新しいデータが入力され、それらデータベースの検索についても利用者用目録端末から検索できるようになっている。

これからの課題はどこの大学でもそうであるように、過去に遡った図書データの入力であろう。一般的に過去の文献に対する需要の度合は人文・社会科学分野の方が自然科学分野のそれよりも多い長い年代に亘っている。こうした当館の利用分析をもとに館内ワーキング・グループでは次のような具体的論点に討議がなされている。

第1に、共同利用の主目的から図書館（医・農分館を含む）に備えつけられている資料

第2に、外国の学術書で新しい年代から過去

へ遡って入力する（開架の参考図書も含め）

第3に、愛媛県に関する郷土資料

第4に、1949年以前に受入れた古典的学術書の入力等々である。

古い洋書の所在を調べるとき、国立国会図書館が発行している『新収洋書総合目録』、1954一、を手がかりにしているが、これも1940年以降の刊行の洋書で、しかも主要な大学で全てではない。

全国の学術情報ネットワーク・システムが進展している中で、相互協力への基本姿勢として各大学でのデータ入力在今后の課題となろう。新しい本と古い本のバランスの上に望ましい大学図書館の姿があるように思えてならない。

さて、旧制松高時代の外国図書、約4,400冊について、『世界名著大辞典』、オリジナル新版、全16巻、平凡社、1987年刊に収録されている欧文索引約7,200件を典拠として、旧制松高時代のカードと照合した調査結果が示された。調査を担当している西原閲覧係長によれば、著者名カードの中から480点が確認され、目下、現本との照合中とのこと、多忙な日常業務の中にあつてコツコツと地道な調査が続けられているが、結果のリストアップに期待したい。

旧松高時代の古典的外国図書を前にして思うことは、傷みがいちじるしいものと、そうでないものに区分し、それぞれ主題分野（旧松高分類表）にリストアップし、それから保存・補修・入力を考える必要がある。

これからの遡及入力については計画的に実施されることを切望するものであるが、整備作業や入力にともなう経費が必要である。学内各位の暖いご支援をお願いしたい。

注) 石山洋, “第2国立国会図書館（仮称）から関西館へ”, 図書館界, 40:159, 1988

JAPAN IS ON THE MOVE

Narayanan Kannan

When this article reaches you I would have completed four years of stay in Japan. I came as a visiting research fellow for a short stay but had the opportunity to join the United Graduate School for Agricultural Sciences

- which had just began then for my doctoral work.

In my years here I have seen this nation, opening its doors wider with the magic word of 'internationalization'. Transformation in

the college of Agriculture, Ehime University and its library [started in a 'modest fashion. In my early days - those of us hungering to read English had to be content with reading the voluminous English dictionaries in the library! But gradually change came as an English news paper appeared on the board and Time and News Week occupied a prominent position. The librarian, like many Japanese I met was sincere in helping the foreign students community which was also gradually growing. He consulted the students for their opinions and even let them name magazines of their choice. Soon, periodicals from China, South Korea, India and United States were subscribed to. My suggestions for Scientific American and Scientist (the only news paper for Scientists) were also taken.

Now, there are enough magazines in English

to fill a whole rack! These benefits are enjoyed not only by the foreign students but are also shared by their wives. The library has indeed done the foreign students community a service.

It is a thoughtful Chinese who said "Even the longest journey begins with a single step." The first step has been made and in the long journey I hope the following few things are also accomplished: Xeroxing at the library could be made free or at least be reduced from the present charge of 40 yen to 10 yen. The library could take the responsibility of mailing the reprints of those foreign scientists who faithfully take up the 'hatharaku suki' spirit of the Japanese and publish enough during their stay. This is the established practice in some developed nations as USA.

(インド共和国留学生大学院連合農学研究科)

「創造の2つの世界」

人は、どうしてもそのイメージを自分なりに創りあげながら、本を読んでいく。そうすることでその本は、ますますその人にとって親しみ深く、忘れ難いものとなるのだと思う。それだけに、何かの折りに映像化されたものをみて、そのギャップに驚き失望することも多い。

最初は何といっても、登場人物が目につく。これは、一目みた瞬間に閃くものである。自分が心に描いていた人物像に少しでも似ているならまだしも、全然似ても似つかない人（特に主人公）を見てしまった時は全くがっかりしてしまう。そういう時は、「まあ、全員が同じイメージを抱くことは土台無理な注文だ。」と考えて自分を納得させるようにするが、やはり何か裏切られたような気分になる。しかし、それと反対に、自分の持つイメージがほぼそのままのまはまり役をみつけた時のうれしさもまた格別である。残念ながらそういうことはめったにないけれども。

NHKで放映中の「シャーロック＝ホームズの冒険」をみた時には、久しぶりにうれしい感動を

医学部医学科3回生 新 居 登 茂 恵

覚えた。主人公のホームズを演じている男優が正にホームズそのものなのである。少なくとも私にとってはそう思えた。そして、主人公さえはまり役ならば、他の登場人物が自分のイメージから少々離れていようと、あまり気にならないものである。（ホームズの友人のワトソン博士には、もう少し若くて温厚そうな人物像を抱いていたにせよ。）

しかし、実際あのホームズを演じるというのはかなり難しいものであるだろう。何しろ、全世界のシャーロックアンの数は莫大であり、また彼らの抱くホームズ像というのは、かなり完成された固定像だろうからである。いずれにせよ、私のみた所のホームズは、正にホームズそのものであり、こちらでも思わず架空の人物であることを忘れそうになったぐらいである。その知性と洞察力を秘めた眼差し、自信に満ちあふれた素早い動作、そして、どこかにイギリス紳士といったダンディーな雰囲気漂わしている。役作りのうまさというものもあるだろうが、やはり適役かそうでないかと

いうことが最も大きいだろう。その点においては、イギリスという国はかなり慎重に映像化を行っているのではないだろうか。勿論、全てのもがそうとはいえないだろうが、そういった傾向は確かに強い。アメリカ、日本などと比べると、特にそう思う。アメリカは、量で勝負している所があるし、日本では、今までみてみたいと思う映画はほとんど無かった。実際、昔と比べて、日本の映画の質は確実に低下したと言われている。全く残念なことだ。

ところで、本にせよ映画にせよ、その国独自の雰囲気といったものがあるような気がする。例えば、ソビエト(ロシア)では、やや重厚な厳しい風土の香りとまた「逞しい民衆の力」といったものを、アメリカでは、陽気で大らかな生活と開拓者精神といったものが、文面や映像を通してこちらに伝わってくるのだ。扱っているものは同一でも、各国それぞれにいつのまにか独自のものが備わってくるというのは、実に興味深いことである。

最近、いろいろな国の映像に接する機会も増えたが、その中でも特にイギリス映画に魅かれるものがある。それは、前述した映像化への慎重で誠意のある姿勢のせいもあるが、他の国にはない深みのある、時には感動さえ与える映像の美しさに魅了されてしまったためでもある。前述した『シャーロック＝ホームズの冒険』を始め、『炎のランナー』『眺めのいい部屋』『インドへの道』『アナザー＝カントリー』などをあげることができ

る。原作への忠実さに感銘をうけたものもあるし原作をしらなかったものもある。しかし、どれも深い印象を与えてくれ忘れることはできない。

読書によって創りあげられる世界は、確かに素晴らしい。人間に許された最高の贅沢のうちの一つであるような気さえする。それだけに、一度その味をしめると、本を読むのはやめられない。私も、昔ほど夢中になって本に向かうことは少ないけれども、ふと本を読みたくなる時がある。また「この試験が終わったら、何か読んでみたいな。」とか「春休みには、絶対〇〇を読んでみよう。」と考えたりもする。

そういった読書によって創造された世界に比べると、実際の映像化の表現の範囲が狭まってくるのは仕方がないことだ。期待してみて、こんなことならいっそ撮らないで欲しかったというものさえある。また映像にするのは、多分無理だろうしそうしてほしくないというものもある。北欧神話の雷神トールの力強さを、『赤色のアン』のアン＝シャーリーの生き生きとした姿を一体誰が表現できるというのだろう。映像は明らかに書物と比べると小さな世界だ。しかし、だからといって劣っているというわけではないと思う。いうなれば2つは、つながりはあるけれど全く表現の異なる世界なのである。そして、限られた世界の困難を打破って創られた名作は、本当に素晴らしいものだ。そういった心に残るような映像が、今後もっともっと増えていくことを願ってやまない。

講演会について

附属図書館では、去る11月2日15時から、愛知淑徳大学の津田良成教授を迎え、視聴覚室において、図書館委員の先生及び館員を対象に「図書

館の電算化とこれからの大学図書館」をテーマとして講演会を開催しました。

昭和63年度購入「大型コレクション」

『日本林制史調査資料』

この度文部省から、昭和63年度の大規模コレクションの予算配分があり、「日本林制史調査資料」のマイクロフィルム版を購入しました。

この資料は、入会林野及び林野の所有関係等の土地制度、造林、伐採、運材、植林等の制度慣例

並びにこの支配関係の記録であり、農林省が全国各地の旧藩主及び各県に残る記録のすべてと、旧山役人、名主、庄屋、これに地主、山方請負の家に残る原資料をくまなく集めて筆写したものを、旧所領、支配別に分けて、収録件数2万件・80万

頁におよぶ一大地方史料をマイクロフィルムに収めたものです。

○資料内容

原 本一和装筆写本 1,396 冊
 絵図 11 帖と 274 枚
 フィルム—35^{mm} ポジティブロール 706 リール
 (365箱入)
 総目録—B 5 判 200 頁上製 2 万件収録

○資料内訳

〔東北〕

弘前藩 (152リール) 盛岡藩 (61リール)
 一ノ関藩 (1リール) 仙台藩 (22リール)
 秋田藩 (41リール) 庄内藩 (28リール)
 新庄藩 (12リール) 米沢藩 (5リール)
 白河藩 (1リール) 会津藩 (10リール)

〔関東〕

水戸藩 (4リール) 黒羽藩 (1リール)
 前橋藩 (2リール)

〔中部〕

高山藩 (10リール) 金沢藩 (35リール)
 福井藩 (6リール) 松代藩 (5リール)
 名古屋藩 (12リール)

〔近畿〕

津藩 (4リール) 彦根藩 (6リール)
 篠山藩 (4リール) 和歌山藩 (12リール)

〔中国〕

鳥取藩 (8リール) 松江藩 (8リール)
 岡山藩 (3リール) 広島藩 (5リール)
 山口藩 (13リール)

〔四国〕

徳島藩 (5リール) 松山藩 (1リール)
 宇和島藩 (5リール) 高知藩 (51リール)

〔九州〕

小倉藩 (20リール) 福岡藩 (11リール)
 佐賀藩 (17リール) 厳原藩 (5リール)
 島原藩 (3リール) 熊本藩 (19リール)
 人吉藩 (7リール) 中津藩 (2リール)
 臼杵藩 (12リール) 飫肥藩 (1リール)
 鹿児島藩 (12リール)

〔全般・その他〕

豊臣以前 (2リール)
 江戸幕府領 (42リール)
 江戸時代皇室、公家及社寺領 (11リール)
 旧高旧領取調帳 (7リール)
 雑 (2リール)

貴重図書の指定について

昭和63年10月25日及び平成元年2月21日開催の附属図書館委員会で下記の2点が貴重図書に指定されました。

◎鈴鹿本 大和物語 全1冊 (袋綴)

(指定基準)

1 和書

(2) 写本

ア 慶長 (1614) 以前に書写されたもの

(推薦理由)

大和物語の流布本は二条家系統であるのに対して、本書は異本系の一本にあたり、天理図書館蔵の「御巫本」と極く近い関係にあることが認められている。正確な書写年代は不明で、室町中期以後の書写にかかるものとみられているが奥書はない。

早くから「御巫本」と共に附載説話が注目されており、本文にみられる特色としては二条家系統の諸本のものよりも合理的でかつ委曲をつ

くしている部分、一面また簡潔な所、藤原顯昭の「袖中抄」「古今集註」、藤原清輔の「袋草子」に引用されている大和物語本文に近似した個所などがみられることである。

(推薦者 美山 靖教授)

(参考文献)

1. 鈴鹿本大和物語 (和泉書院影印叢刊28)

糸井通浩編著 和泉書院 昭和56年

2. 竹取物語 伊勢物語 大和物語 (日本古典文学大系9) 岩波書店 1977

◎多田満中 (絵巻) 2巻 (箱入り)

(指定基準)

1 和書

(2) 写本

イ 元和 (1615) 以後に書写されたもののうち、伝写本が少なく、かつ、資料的価値があると認められたもの。

(推薦理由)

満中は幸若舞曲を代表する一曲である。現存諸本は語り本系のものを読み本系のものに分けられるが、本絵巻は読み本系に属する一伝本と考えられる。読み本系のものには、奈良絵本の体裁のものが十本近く知られているが、絵巻は本絵巻以外にはなく、その点においてまず貴重なものと言うことが出来る。

更に、読み本系の本文の中では、従来寛永整

版本が代表的な本文とされてきたが、本絵巻の本文は寛永本と極めて近く、寛永本を訂し得るところもある。読み本系を代表しうるものである。これらの点も含めて、本絵巻の成立は、江戸初期頃と推定できるように思われ、本文の上からも貴重なものと言える。

(推薦者 田村 憲治助教授)

本学図書館の地域資料について その3

前々号(第24号)の「図書館だより」でお知らせしました上記資料の続編として、本号では中予編をご紹介します多くの方々のご利用を願っております。

〔松山市〕

松山市総合計画 基本構想・基本計画

松山市市長公室企画課 1974

松山市総合計画 DIGEST 明日のまつやまをめぐりて・・・松山市市長公室企画課 1975

松山地区新広域市町村圏計画 松山地区広域市町村圏協議会 1981

松山城工事報告書 松山市 1971

まつやま (英語版) 松山市 1980

これが松山だ '80 松山青年会議所 1980

事業所名鑑 昭和45年版 松山市市長公室企画課統計課 1970

松山 1977市勢要覧 1979市勢要覧 1980市勢要覧 1981市勢要覧 1985市勢要覧 松山市企画管理部企画課

松山市統計書 昭和50年版～昭和62年版 松山市企画管理部

松山の公民館 松山市教育委員会 1972 1979 調査資料 第25号(1978)～第33号 第37号～

第43号(1982) 松山市議会事務局議事課 教育要覧 松山市教育委員会 1982

国勢調査結果報告書 昭和45年 松山市

公害 松山市環境部公害課 1977

松山市青年学級開設二十年史 松山市教育委員会 1974

俳句の里松山 松山市観光課 1977

伊予路の文化 松山市観光課 1975

子規の話 柳原極堂 1977

正岡子規をめぐって 景浦雅桃 1978

伊予路の正岡子規 文学碑遺跡散歩 鶴村松一 1979

町名沿革一覧表 (昭和55年2月1日現在)

松山市都市計画課住居表示係 1980

市民がつくる観光文化都市 松山市 1977

岩子山古墳 松山市教育委員会 1975

埋蔵文化財発掘調査概報 松山市教育委員会 1975

松山市埋蔵文化財調査年報 昭和60～61年度 松山市教育委員会 1987

松山城太鼓櫓石垣修築工事調査報告 松山市産業部観光課 1974

宮前川遺跡調査報告 津田第一地区 松山市教育委員会 1987

天山・桜谷遺跡発掘報告書 松山市教育委員会 1973

釜ノ口遺跡調査報告書 松山市教育委員会 1973

かいなご・松ヶ谷古墳 松山市教育委員会 1975

松山市誌 松山市役所 1962

湯山誌稿 ——山村の歩み—— 松山湯山小学校 P T A 1959

伊予路の文化 第6集 松山市教育委員会 1979

松山物語 伊丹邦之介 1958

伊予乃高嶺 熟田津石湯行宮の発見 真鍋充親 1969

松山城天守閣よりの展望 松山市役所 1971

道後温泉 松山市役所 1974

松山城 松山市役所 1970

松山市の文化財 松山市教育委員会 1980

- 松山城と松山市 大栗三郎 1980
- 松山有情 佐々木 忍 1978
- 戦後・松山城下 町と人 ウェダ映像社 1977
- 写真集 ひとの顔まちの顔 松山・戦中戦後
上田雅一 1983
- わたしたちの松山 垂直撮影航空写真地図
英公社 1983
- 松山のむかし話 民話 松山市教育委員会
1978
- ふるさと歳時記 山本富次郎 1978
- 松山城史 景浦 勉 1976
- 坊っちゃん列車と伊予鉄道の歩み 伊予鉄道株
式会社 1977
- 伊予鉄道百年史 伊予鉄道株式会社 1987
- 国勢調査報告書 昭和55年 昭和60年度 松山
市企画管理部情報管理課
- 青少年教育要覧 1979 松山市教育委員会青少
年センター
- 補導センター10年の歩み 松山市少年補導セン
ター 1974
- 松山国際交流のあゆみ 姉妹都市提携5周年記
念誌 松山市企画管理部企画課 1986
- 松山市中学生海外派遣団報告書 松山市国際交
流協会 1987
- 松山市の事業所 昭和61年事業所統計調査結果
報告 松山市企画管理部情報管理課 1988
- 松山市の人口動態 昭和59年 昭和62年 松山
市企画管理部情報管理課
- 松山地区広域市町村圏基礎調査 松山地区広域
市町村圏協議会 1972
- 松山地区広域市町村圏振興整備計画(改定版)
松山地区広域市町村圏協議会 1977
- 清掃事業概要 昭和55年度 松山市環境部清掃
課 環境衛生課
- 公害行政の概要 昭和61年度 昭和62年度 松
山市環境部公害課
- 公害の現況と対策 昭和51年度～53 55～59年
度 松山市環境部公害課
- 地方開発都市松山市の現状 松山市
- 高月山古墳群調査報告書 松山市教育委員会
1988
- 松山市文化財のしおり 松山市教育委員会
1976
- 御産所11号古墳・忽那山古墳・久万ノ台古墳
松山市教育委員会 1976
- 古照遺跡Ⅱ 松山市教育委員会 1976
- 文京遺跡 松山市教育委員会 愛媛大学 1976
- 松山の教育 第37号～第41号 松山市教育研究
協議会
- 松山の社会教育 社会教育行政基本資料 松山
市教育委員会 1980
- 校区別町名索引 校区別町名一覧表 松山市教
育委員会 1980
- 合同歌集 三伊佐爾波 No.2 道後公民館 1984
- 松山の水道のあゆみ 松山市公営企業局 1984
- 施策にみられる道後平野の麦作振興 中国四国
農政局愛媛統計情報事務所松山出張所 1974
- 松山の文学散歩 松山市文化財協会 1976
- 松山市立子規記念博物館 館蔵資料目録Ⅰ
松山市立子規記念博物館 1984
- 松山市立子規記念博物館年報 1～6 松山市
立子規記念博物館 1987～1988
- 石手川開発に尽くした人々 素鷲郷土研究グル
ープ 1984
- 伊予松山の城主 第8回特別企画展図録 松山
市立子規記念博物館 1984
- 子規をめぐる画人たち 浅井 忠・中村不折
第9回特別企画展図録 松山市立子規記念博
物館 1984
- たかはま 高浜校区郷土史 高浜小学校PTA
郷土史編集委員会 1978
- 「松のみどり」東松山連句会連句集 松山連
句会 1988
- 三津の面影 谷本延衛 1929
- おへんろさん 松山と遍路の民俗 松山市教育
委員会 1981
- 道後物語 (愛媛文化双書 12) 朝日新聞松
山支局 1972
- ふるさと素鷲 素鷲郷土研究グループ 1985
- わすれかけの街 まつやま戦前 池田洋三
愛媛新聞社 1975
- 松山案内 松山市教育委員会 (明治42年版
複製) 1975
- 松山市史料集 第1巻 3～4 6～12巻 松
山市役所 1980～1985
- 松山道後案内 附伊予鉄道の葉 松山市立子規
記念博物館 1983
- 連歌——「座」の文学 松山市立子規記念博物

- 館 1988
- みんなでつづる松山市連合婦人会30年のあゆみ
松山市連合婦人会 1981
- 重要文化財松山城乾櫓修理工事報告書 松山市
1964
- 伊予松山方言集 岡野久胤 1975
- 俳句の里 松山 (市民双書 22) 松山市教育委員会 1981
- 子規と松山 (愛媛文化双書 11) 越智二良
風戸 始 1972
- 虚子のふるさと (愛媛文化双書 17) 越智
二良 風戸 始 1973
- 子規句解 (市民双書 21) 松山市教育委員会
1979
- 思い出の子規 天岸太郎 1979
- 正岡子規 資料と研究 1~5 愛媛大学子規
研究会 1970~1977
- 伊予路の正岡子規 文学碑遺跡散歩 鶴村松一
1978
- 伊予路の種田山頭火 一草庵時代・文学遺跡散
歩 鶴村松一 1976
- 俳都松山文学碑物語 俳句のふるさと散歩 鶴
村松一 1977
- 正岡子規 故郷松山平野の文学風景 鶴村松一
1977
- 流浪の俳人山頭火 松山時代の俳人と柿の会
鶴村松一 1977
- 伊予路の河東碧梧桐 文学遺跡散歩 鶴村松一
1978
- 伊予路の高浜虚子 文学遺跡散歩 鶴村松一
1978
- 伊予路の野村朱燐洞 文学遺跡散歩 鶴村松一
1979
- 柳原極堂 伊予路の文学遺跡散歩 鶴村松一
1980
- 芭蕉と一茶 伊予路の文学碑散歩 鶴村松一
1980
- 松山文学案内 鶴村松一 1982
- 伊予路の道後温泉 秘められたる史跡と文学散
歩 鶴村松一 1977
- 伊予路の松山城物語 三百七十五年の歴史と文
学 鶴村松一 1977
- 松山の文学散歩 子規とふるさと人の詩歌 松
山市文化財協会 1976
- 子規の話 柳原極堂 述 1975
- 父極堂 柳原正春 1983
- 〔重 信 町〕
- 句集 しげのぶ No. 6. 7. 重信俳句協会
1986~87
- しげのぶ 町勢要覧 1978年版 重信町役場
- 重信史談 No. 1. 3. 重信史談会
- 重信町内の指定文化財 重信町教育委員会
1982
- 重信町の農林業 中国四国農政局愛媛統計情報
事務所松山出張所 1983
- 重信の俳諧資料 (郷土教育資料 10) 重信
町教育委員会 1979
- 消防年報 昭和62年版 東温消防等事務組合消
防本部 1988
- ふるさとこみちしげのぶ その1 重信町教育
委員会 1980
- わたしたちの重信町 小学校3年生社会科資料
重信町教育委員会 1978
- 重信の子供の遊び 重信町教育委員会 1985
- 重信のむかし話 重信町教育委員会 1983
- 重信の俳諧資料 (郷土教育資料 10) 重信
町教育委員会 1979
- 〔川 内 町〕
- 川内 昭和51年・川内町勢要覧 川内町 1976
- 川内町の農林業 中国四国農政局愛媛統計情報
局松山出張所 1985
- 川内町の文化財 川内町教育委員会 1984
- 川内町誌 川内町 1961
- 続川内町誌 川内町発足十周年史 川内町
1968
- 〔中 島 町〕
- 中島の文化 第1~2集 中島町教育委員会
1981, 1985
- 俳句短歌集 見よせ No. 3~5 中島町文化
協会 1985~86
- 〔伊 予 市〕
- 伊豫 市制25周年記念版市勢要覧 伊豫市役所
1980
- 伊豫市の農林水産業 中国四国農政局愛媛統計

情報事務所松山出張所 1981
わたしの市民手帳 伊予市市長公室企画広報係
1980
伊豫市誌 伊予市 1986

〔松前町〕

松前町勢要覧 1978年 松前町企画財政課
松前町統計書 昭和54年版 松前町企画財政課
1979
松前町誌 松前町役場 1980

〔砥部町〕

砥部町郷土誌資料 第1～4集 砥部町教育委員
会 1968～1970
砥部町の農林業 中国四国農政局愛媛統計情報
事務所松山出張所 1981
砥部町総合開発計画 砥部町役場企画室 1972
ふるさと歳時記 砥部町企画課 1984
砥部町誌 砥部町役場 1978

平成元年度新規及び中止購入雑誌リスト

○ 新規雑誌

本館	誌名	備付場所			
	文学	教養 英語	考古学報	法文	人間科学
	知識工学と人工知能研究会資料	工学 情報共通	国語学	法文	人間科学
	電子通信学会技術研究報告：言語処理と コミュニケーション	工学 情報共通	クリティーク	教育	社会科教育
	電子通信学会技術研究報告： 人工知能と知識処理	工学 情報共通	教育マイコン実践	教育	聴覚言語
	電子通信学会技術研究報告： コンピューテーション	工学 情報共通	みづゑ	教養	芸術
	エコノミスト	法文 経済	月刊 日本語	法文	人間科学
	エレクトロニク・セラミクス	教養 物理学	月刊 日本語 別冊	法文	人間科学
	学遊	教養 保健体育	日本語学	法文	人間科学
	現代思想	教養 英語	日本語学	教養	文学
	現代思想	教養 英語	日本語教育	法文	人間科学
	へるめす	教養 英語	日本の歴史 別冊（週刊朝日百科） 歴史の読み方	教育	地理
	人と国土	法文 人間科学	日本応用磁気学会誌	教養	物理学
	医療人類学	法文 人間科学	日本セラミクス協会学術論文誌	教養	物理学
	人民中国	法文 日東文化	日経ビジネス	法文	経済
	人類科学	教養 地理学	オペレーションズ・リサーチ	工学	交通工学
	季刊 化学総説	教養 化学	パーゴルフ（月刊）	教養	保健体育
	海外社会保障情報	法文 経済	P I X E L	工学	材料力学
	経営史学	法文 経済	臨床脳波	教育	養護
	経済評論	法文 経済	生体の科学	教養	生物学
	経済評論	法文 経済	西洋古典学研究	教養	歴史学
	記号処理研究会資料	工学 情報共通	世界の企業の経営分析	法文	経済
	企業経営の分析	法文 経済	世界の歴史（週刊朝日百科）	教育	地理
	古代文化	法文 人間科学	セラミクス	教養	物理学
			季刊 社会保障研究	法文	経済
			自然言語処理研究会資料	工学	情報共通
			書道研究	教育	書道
			小児内科	教育	養護
			ソフトウェア工学研究会資料	工学	情報共通
			数値解析研究会資料	工学	情報共通

都市計画	法文	人間科学	Journal of the American Mathematical Society.	図書館
ユリイカ	教養	英語	Journal of Applied Social Psychology.	教養 心理学
ユリイカ	教養	英語	Journal of the Association for Computing Machinery.	工学 情報共通
全国市町村要覧	教養	社会学	Journal of Biomechanics.	図書館
Aboriginal History.	教養	地理学	Journal of Computer-based Instruction.	教育 実践センター
American Ceramic Society Bulletin.	教養	物理学	Journal of Mathematical Biology.	理学 数学
American Journal of Physiology: Renal, Fluid & Electrolyte...	教養	生物学	Journal of Pascal, Ada ⁷ & Module-2.	教養 情報科学
Ars Combinatoria.	図書館		Journal of Pragmatics.	法文 人間科学
Artificial Intelligence.	工学	計算機工学	Journal of Social Issues.	教養 心理学
Australian Aboriginal Studies.	教養	地理学	Linguistic Analysis.	法文 人間科学
C&RL News.	図書館		Linguistic Review.	法文 人間科学
Canadian Geographers.	教養	地理学	Linguistics.	法文 人間科学
Classroom Computer Learning.	教育	実践センター	Linguistics Abstracts.	法文 人間科学
Coastal Engineering in Japan.	工学	海洋水構	Linguistics and Philosophy.	法文 人間科学
College and Research Libraries.	図書館		Mathematical Bioscience.	図書館
Commentaire.	法文	法学	Melville Society Extracts.	法文 欧米文化
Computer Systems Science and Engineering.	工学	計算機工学	Micro/Systems: Journal for the PC Systems Integrator.	教養 情報科学
Computing Teacher.	教育	実践センター	Natural Language & Linguistic Theory.	法文 人間科学
Current Contents. Life Science.	教養	生物学	Neuropediatrics.	教育 養護
Developmental Medicine and Child Neurology.	教育	養護	Papers in Linguistics.	法文 人間科学
Diabetologia.	保健管理センター		Physics in Technology.	教養 物理学
Epilepsia.	教育	養護	Pouvoirs.	法文 法学
European Journal of Social Psychology.	教養	心理学	Revue de Droit Public et de la Science Politique en France et a l' Etranger.	法文 法学
Expositiones Mathematicae.	教養	数学	Revue Historique de Droit Française et Etranger.	法文 法学
Human Relations.	教養	心理学	Solid State Ionics.	工学 材料化学
I.B.M. Journal of Research and Development.	教養	情報科学	Stochastic Analysis and Applications.	教養 数学
I.E.E.E. Transactions on Magnetics.	教養	物理学	Superconductor Science and Technology.	教養 物理学
Index to Legal Periodicals.	法文	法学	Textual Practice.	教養 英語
Industrial Relations.	法文	経済	Tijdschrift voor Rechtsgeschiedenis.	法文 法学
Instructional Science.	教育	実践センター	Topology Proceedings.	理学 数学
Integral Equations and Operator Theory.	教養	数学		

Welding in the World. 工学 金属共通
 Wirtschaftswoche. 教養 経済学
 Work, Employment & Society. 法文 経済
 Zeitschrift für die Gesamte Strafrechtswissenschaft. 教養 法学

医学部分館

Arteriosclerosis. 臨床検査
 Dysphagia. 耳鼻咽喉科
 International Archives of Occupational and Environmental Health. 公衆衛生
 Lipids. 臨床検査
 Neuroscience and Biobehavioral Reviews. 薬理学
 World Journal of Surgery. 外科第二

農学部分館

農業技術 農産施設学
 農業技術経済 農業資源管理学
 農業経済論集 農業経営学
 農業および園芸 農産施設学
 リモートセンシング学会誌 農業気象学
 生鮮食料品流通情報 農産物流通学
 施設と園芸 施設栽培学
 大気汚染学会誌 農業気象学
 問答式土木施工管理の実際 地水施設工学
 農業技術大系(畜産編) 畜産学
 農業技術大系(土壌施肥編) 作物学
 農業技術大系(土壌施肥編) 農業経営学
 農業技術大系(土壌施肥編) 農場
 農業技術大系(果樹編) 園芸利用学
 農業技術大系(果樹編) 柑橘学
 農業技術大系(果樹編) 農産物流通学
 農業技術大系(果樹編) 農業経営学
 農業技術大系(果樹編) 農場
 Annual Review of Biochemistry. 生物化学
 Annual Review of Entomology. 昆虫学
 Computers and Electronics in Agriculture. 農業環境工学
 Faba Bean Abstracts. 連合農学科
 Journal of Agricultural Engineering Research. 農産施設学
 Plant Breeding Abstracts. 連合農学科

Reviews of Environmental Contamination and Toxicology. 環境化学

○ 中止雑誌

本館

bit 情報処理センター
 bit 別冊 情報処理センター
 bit 臨時増刊 情報処理センター
 地域 教育 地理
 エアライン 法文 人間科学
 えとのす 教育 地理
 岩 鈺 教育 地学
 言語生活 教養 日事情
 情報処理 情報処理センター
 考古学報 法文 日東文化
 航空情報 法文 人間科学
 国際交流 教養 日事情
 高齢社会 教養 社会学
 季刊 教育法 別冊(げ・ん・き) 教育 法学
 日本語学 教養 日事情
 日本語教育 教養 日事情
 日経マイクロデバイス 工学 電気基礎
 日経ニューマテリアル 工学 金属材料
 歴史手帖 月刊 教養 文化人類
 社会史研究 教育 地理
 数理科学 工学 海洋水構
 数理科学 別冊 工学 海洋水構
 土地住宅問題 教育 家庭
 ウィリアム・フォークナー 教育 英語
 潮 教育 法学
 前衛 教育 法学
 通商産業関係法令集 公害編 図書館
 Accident Analysis & Prevention. 工学 交通工学
 Africa. 教養 文化人類
 Anthropological Quarterly. 教養 文化人類
 Early Child Development and Care. 教育 幼稚園
 Family Process. 法文 人間科学
 Far Eastern Economic Review. 法文 人間科学
 Finishing. 工学 金属共通
 Historische Zeitschrift. 法文 欧米文化

Historische Zeitschrift. Beiheft.

法文 欧米文化

Houille Blanche. Original Series.

工学 水工学

I.E.E.E. Transactions on Pattern Analysis

& Machine Intelligence. 教養 情報科学

I.S.A. Transactions.

工学 制御工学

Institute of Measurement and Control

Transactions. 工学 制御工学

Journal of Biomechanics. 図書館

Journal of Educational Technology

Systems. 教育実践センター

Journal of Marriage & Family.

法文 人間科学

Journal of Personal and Social

Relationships. 教養 心理学

Journal of Research in Science

Teaching. 教育実践センター

Juristische Ausbildung.

教養 法学

Measurement and Control.

工学 制御工学

Musik und Bildung.

教育 幼稚園

Review of Polarography.

工学 海資源化

Social History.

法文 人間科学

Sports Illustrated.

教育 体育

U.S. News & World Report.

法文 人間科学

Wasserwirtschaft-Wassertechnik.

工学 水工学

医学部分館

ファルマシアレビュー

薬理学

Arteriosclerosis.

病院・検査部

Electroencephalography and Clinical

Neurophysiology.

脳神経外科学

Journal of Comparative Psychology.

薬理学

Lipids.

病院・検査部

Progress in Neuro-Psychopharmacology

and Biological Psychology. 薬理学

Scandinavian Journal of Urology and

Nephrology.

泌尿器科学

Scandinavian Journal of Urology and

Nephrology. Supplement.

泌尿器科学

Zeitschrift für Urologie und Nephrologie.

泌尿器科学

農学部分館

農業技術

農業労働科学

農業技術

農業気象学

農業および園芸

農業労働科学

林業経済

森林政策学

四国地方一ヶ月予報

農業気象学

四国地方三ヶ月予報

農業気象学

Estuarine, Coastal and Shelf Science.

環境化学

Journal of Agricultural Engineering

Research.

農業労働科学

Journal of Climate.

農業気象学

愛媛大学附属図書館委員会

昭和63年度第2回附属図書館委員会

日時：昭和63年10月25日（火）15：00～16：00
議 題

- (1) 貴重図書の設定について
- (2) 研究用図書に添付している図書目録カードの取扱いについて
- (3) 図書館共同利用資料に関する懇談会について
- (4) その他

報告事項

- (1) 愛媛地区大学図書館協議会総会について
- (2) 昭和63年度外国図書の購入希望調査について

て

(3) 図書館専用電子計算機の新システムについて

て

- (4) 利用者用オンライン目録検索について
- (5) 一般市民への公開の現状について
- (6) 外国人留学生コーナーの設置計画について
- (7) その他

愛知淑徳大学 津田教授の講演会

昭和63年度第3回附属図書館委員会

日時：平成元年2月21日（火）15：00～
議 題

- (1) 愛媛大学事務組織規程及び愛媛大学事務分

掌規定の一部改正(案)について

- (2) 平成2年度新規概算要求事項について
- (3) 貴重図書の指定について
- (4) 鈴鹿本目録刊行計画について
- (5) その他

学位論文について

報告事項

- (1) 国立大学附属図書館事務部長会議について
- (2) 研究 図書に添付している図書目録カードの利用状況に関するアンケート調査の集計結果について
- (3) 図書館共同利用に関する懇談会について
- (4) 利用者用オンライン目録検索について
- (5) その他

愛媛大学附属図書館委員会委員

()内は任期

附属図書館長	曾山義朗 (元.12.15)	〃	北村揚一 (元.3.31)
医学部分館長	三木吉治 (2.9.30)	医学部	丘村照 (元.3.31)
農学部分館長	伏見知道 (2.10.31)	工学部	磯村滋宏 (2.3.31)
法文学部	西田博 (2.3.31)	〃	黒河進 (元.3.31)
〃	百地章 (元.3.31)	農学部	徳増智 (2.3.31)
教育学部	柳田征司 (2.3.31)	教養部	日原冬夫 (2.3.31)
〃	白方勝 (元.3.31)	〃	中安ちか子 (元.3.31)
理学部	柳沢康信 (2.3.31)	事務局長	一宮正明

昭和63年度(第14回)

中国四国地区国立大学図書館係長会議

本年度は愛媛大学附属図書館が当番館となって松山郵便貯金会館を会場として、昭和63年11月17日(木)・18日(金)の両日開催されました。

※協議事項

1. 本係長会の開催回次について (愛媛大学提案)
2. オンライン情報検索に関わるスタッフの養成について (鳥取大学提案)
学外各種データベースの利用について (徳島大学提案)
3. 蔵書点検について (鳥取大学提案)
4. 相互貸借業務の改善について (岡山大学提案)
国立大学図書館協議会「現物貸借規約」について (広島大学提案)

5. 外国人留学生に対する図書館サービスについて (岡山大学提案)
6. NACSIS-MAILの利用について (岡山大学提案)
学術情報センターのNACSIS-MAILの活用について (広島大学提案)
7. OPACにおける研究室備付(貸出)図書の所在情報について (岡山大学提案)
8. 大学図書館の一般市民(県民)への公開にあたり、各館の窓口を担当する係はどのように対処しておられるか (広島大学提案)
9. 文庫本、新書本の運用について (山口大学提案)
10. コイン式複写機の設置について (山口大学提案)

愛媛地区大学図書館協議会総会

昭和42年2月に設置された同協議会は、ここ数年中断されていましたが、昭和63年7月22日(金)から再開しました。

※協議事項

1. 新規加盟館について (愛媛県立医療技術短期大学附属図書館)
2. 幹事館・監査館の選出について
3. 愛媛地区大学図書館協議会会則の一部改正について
4. 昭和63年度事業計画について
5. その他

図書館業務電算化日録

昭和63年

- 10月13日 (木) 昭和63年度第14回サブシステム主任会議
第18回富士通との打合せ
第4回受入システム導入のための打合せ
- 10月20日 (木) 昭和63年度第15回サブシステム主任会議
- 10月21日 (金) 係長会議(推進班会議)
- 10月25日 (火) 図書館委員会(OPAC検索デモンストレーション)
- 11月2日 (水) 津田良成教授特別講演会「図書館の電算化とこれからの大学図書館」
- 11月4日 (金) 昭和63年度第16回サブシステム主任会議
- 11月11日 (金) 昭和63年度第17回サブシステム主任会議
第19回富士通との打合せ
第5回受入システム導入のための打合せ
- 11月18日 (金) 昭和63年度第18回サブシステム主任会議
- 11月22日 (火) 係長会議(推進班会議)
- 11月28日 (月) 昭和63年度第19回サブシステム主任会議

- 12月8日 (木) 昭和63年度第20回サブシステム主任会議
第20回富士通との打合せ
- 12月15日 (木) 昭和63年度第21回サブシステム主任会議
- 12月20日 (火) 係長会議(推進班会議)
- 12月22日 (木) 昭和63年度第22回サブシステム主任会議
- 12月23日 (金) 昭和63年度第23回サブシステム主任会議

平成元年

- 1月10日 (火) 図書受入システム説明会6名参加
昭和63年度第24回サブシステム主任会議
- 1月12日 (木) 昭和63年度第25回サブシステム主任会議
第21回富士通との打合せ
- 1月24日 (火) 雑誌システム説明会 3名参加
昭和63年度第26回サブシステム主任会議
- 1月31日 (火) 係長会議(推進班会議)
- 2月7日 (火) 昭和63年度第27回サブシステム主任会議
- 2月21日 (火) 図書館委員会

お知らせ

◎ 外国からの図書館見学者

昭和63年10月から平成元年1月にかけて来館された方は下記のとおりです。

昭和63年10月18日

キリバス共和国内務地方分権担当省地域開発局
アモン・ティマン青年担当官

昭和63年12月7日

メチョー農科大学(タイ国)
テーブラソン・ウォラヨート教授(副学長)

ウィチャイ・タンワタナクン助教授

(農業経営学部長)

スマート・シリニラン助教授

(農業調査及び普及研究所長)

◎ 来館者

平成元年2月1日

職業訓練大学校

早野茂夫教授(図書館長)

◎ 新入生に対する図書館利用証の交付について

本学の図書館を利用するためには、「図書館利用証」(下記様式)が必要です。

図書館利用証	
氏名	_____
所属	_____
入学年度	_____
愛媛大学附属図書館	

新入生(院生・専攻生・研究生・聴講生・編入生及び留学生を含む)の方は、下記の期間に全員もれなく交付申請書を提出し、利用証の交付を受けて下さい。

申請書の用紙は閲覧係のカウンターに用意してあります。

なお、申請書の記入にあたっては、カウンター上の記入例をよく見て誤りのないよう正確に記入して下さい。

申請書提出期間(学生証が必要です)

4月12日(水)から4月24日(月)まで

利用証交付期間(学生証と印鑑が必要です)

5月8日(月)から5月22日(月)まで

*取扱時間はいずれも

月～金は、9時から 17時まで

土は 9時から 12時30分まで

◎ ロッカー使用上の注意

図書館の自由閲覧室(1F)以外の各室(参考図書室・開架閲覧室・教科書閲覧室及び書庫)に入室するときは、カバン・袋物・手荷物等の持込みは出来ませんので、必ずロッカーを使用して下さい。

ロッカーの使用は、図書館を利用する場合に限り「ロッカー使用簿」に所属・氏名・ロッカー番号を記入し使用して下さい。

使用後は、必ず各自で使用簿にチェックし、鍵を所定の場所に返して下さい。

図書館利用以外の目的で使用することや、鍵の持出しは厳禁します。

なお、ロッカー使用は当日限りです。

◎ 学生希望図書について

昭和63年2月から昭和63年12月までに購入した学生希望図書は次のとおりです。

- 「今西進化論」批判の旅
ベヴァリー・ホールステッド著
築地書館 1988
- 心の探検隊 改訂版
中島誠他著 アカデミア出版会 1987
- ヒマラヤへの道
今西均著 中央公論社 1988
- インド紀行
上野照夫著 中央公論社 1988
- 論理設計入門
相原恒博他著 日新出版 1984
- 沖縄近代経済史
向井清史著 日本経済評論社 1988
- 現代原子力工学 第2版
大山彰著 オーム社 1985
- 心理学30講
杉本助男著 北大路書房 1984
- 高分子研究者総覧
高分子学会編 講談社 1988
- 地球大紀行1-6巻、別巻1, 2
NHK取材班著 日本放送協会 1988
- 織田信長文書の研究 下巻
奥野高広著 吉川弘文館 1969

◎ 愛媛大学記念文庫について

昭和63年11月から昭和63年12月までの間に御寄贈いただいた著書は次のとおりです。

- 野村正三郎作品集 1988
野村正三郎編 嵯峨野書院 1988
- 愛媛の自然をたずねて(日曜の地学 17)
鹿島愛彦編著 築地書館 1988

愛媛大学附属図書館報「図書館だより」

第26号 平成元年3月25日発行

発行 愛媛大学附属図書館

松山市文京町3番

Tel 0899-24-7111(代)